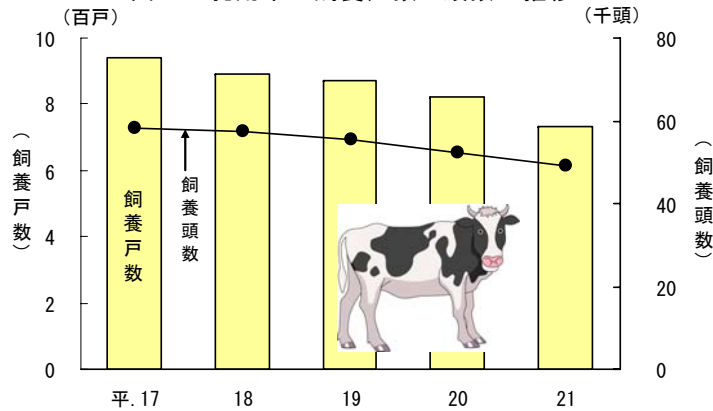


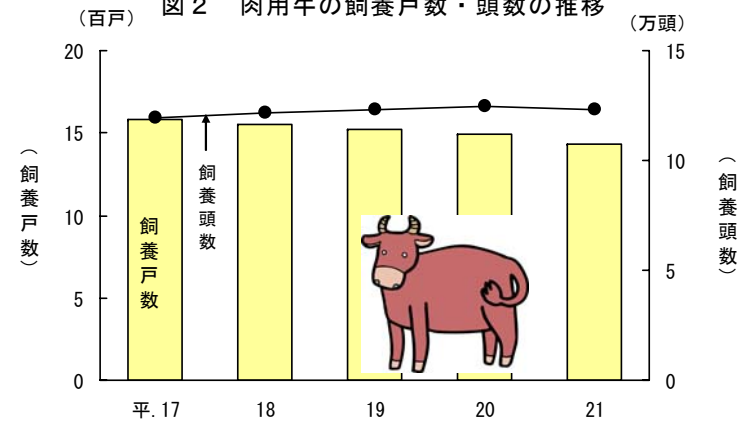
# 畜産統計（平成21年2月1日現在）の概要（東海）

図1 乳用牛の飼養戸数・頭数の推移



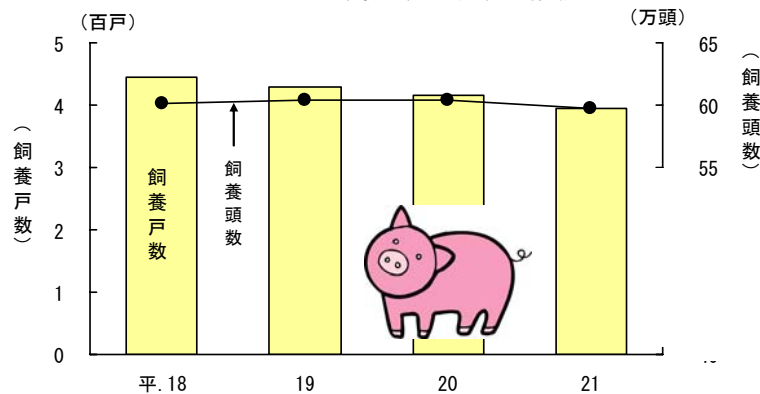
平成21年2月1日現在（以下同じ）の乳用牛の飼養戸数は733戸（前年822戸）で、飼養頭数は48,900頭（52,500頭）となりました。なお、1戸当たり飼養頭数は66.7頭（63.8頭）となっています。

図2 肉用牛の飼養戸数・頭数の推移



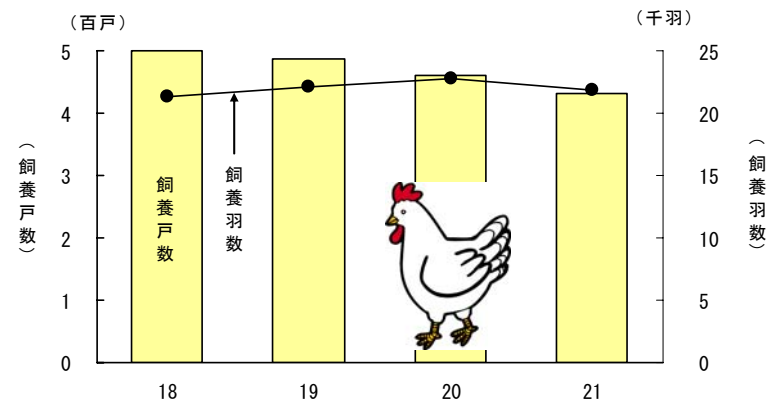
肉用牛の飼養戸数は1,430戸（前年1,490戸）で、飼養頭数は123,000頭（124,600頭）となりました。1戸当たりの飼養頭数は86.0頭（83.6頭）となっています。

図3 豚の飼養戸数・頭数の推移



豚の飼養戸数は394戸（前年416戸）で、飼養頭数は596,900頭（603,500頭）となりました。1戸当たりの飼養頭数は1,515.0頭（1,450.7頭）となっています。

図4 採卵鶏の飼養戸数・羽数の推移



採卵鶏の飼養戸数（種鶏のみを除く）は432戸（前年460戸）で、飼養羽数は21,886千羽（22,812千羽）となっています。1戸当たり成鶏めす羽数は40.3千羽（40.4千羽）となっています。

※ 豚並びに採卵鶏については、平成17年はセンサス実施年のため調査を行っておりません。

〈統計表〉 平成21年2月1日現在の畜産統計

	乳用牛				肉用牛				豚					採卵鶏			
	飼養戸数	飼養頭数	経産牛	1戸当たり飼養頭数	飼養戸数	飼養頭数	肉用種	1戸当たり飼養頭数	飼養戸数	子取りめす豚のいる戸数	飼養頭数	子取り用めす豚	1戸当たり飼養頭数	飼養戸数	飼養羽数（種鶏を除く）		1戸当たり成鶏めす飼養羽数
															計	成鶏めす（6か月以上）	
戸	頭	頭	頭	戸	頭	頭	頭	戸	戸	頭	頭	頭	戸	千羽	千羽	千羽	
東海	733	48 900	38 100	66.7	1 430	123 000	66 200	86.0	394	357	596 900	54 500	1 515.0	432	21 886	17 408	40.3
岐阜	193	8 450	6 420	43.8	745	36 700	32 700	49.3	60	56	104 900	9 510	1 748.3	118	5 711	4 606	39.0
愛知	461	33 300	26 200	72.2	448	58 800	10 800	131.3	268	241	372 300	33 800	1 389.2	221	9 952	7 457	33.7
三重	79	7 170	5 450	90.8	240	27 500	22 700	114.6	66	60	119 700	11 200	1 813.6	93	6 223	5 345	57.5
全国	23 100	1 500 000	985 200	64.9	77 300	2 923 000	1 889 000	37.8	6 890	5 950	9 899 000	936 700	1 436.7	3 110	178 208	139 910	45.0

〈参考〉 調査の仕様

1 調査の目的

本調査は、主要家畜に関する飼養頭羽数規模別飼養戸数、状態別飼養頭羽数等を把握し、我が国の畜産生産の現況を明らかにすることにより、畜産行政における施策の策定等に資料を提供することを目的としている。

2 調査の対象

本調査は、全国の乳用牛飼養者（おすのみを飼養している場合を除く。）、肉用牛飼養者、豚飼養者及び採卵鶏飼養者（成鶏めす1千羽未満の飼養者を除く。）を対象としている。

なお、飼養者が複数の畜種を飼養している場合は、それぞれの畜種別に調査の対象とした。

3 調査対象数

調査対象は、都道府県別に学校等の非営利団体とそれ以外の飼養者（以下、「一般飼養者」という。）に分け、一般飼養者は標本抽出により調査対象を選定し、非営利団体は全数を調査対象とした。

4 調査事項

- (1) 乳用牛調査・・・状態別飼養頭数、月別経産牛頭数、分べん頭数、乳用向けめす出生頭数、経営耕地・飼料用作物の作付実面積状況、放牧の状況
- (2) 肉用牛調査・・・目的別飼養頭数、肉用種子取り用めす牛年齢別飼養頭数、経営タイプ、経営耕地・飼料用作物の作付実面積状況、放牧の状況
- (3) 豚調査・・・飼養頭数、経営タイプ、経営組織
- (4) 採卵鶏調査・・・飼養羽数、経営組織、ひなの導入

5 調査期日

平成21年2月1日現在で調査した。

6 調査方法

調査対象が調査票に直接記入する自計申告調査とし、郵送調査により実施した。

また、乳用牛調査及び肉用牛調査における品種別の飼養頭数等は、牛個体識別システム（全国のすべての牛に対して付けられた固有番号により、各個体の生産・異動情報を管理するシステム（家畜改良センター））のデータを利用することにより把握している。